

えんぼとたんぼの始発駅 里山ビオトープ二俣瀬	<h1>会 報 第 178 号</h1>	2016年5月23日 里山ビオトープ二俣瀬をつくる会 編集責任者：原谷 一誠
-------------------------------	----------------------	--

1. 活動報告（事務局 記）

—5月1日（日）維持活動（草刈・水路溝上げ・エコアップ・修復作業）

① 作業実施前および作業後に、以下の内容について話し合いをいたしました。

- ・新入会員の紹介（上田 久夫さん）
- ・水車補修についての、経過報告
- ・ビオトープへの、二俣瀬市民センターの対応
- ・稲作体験（ひざ癒し）時の準備
- ・福川子供クラブ来訪時の受け入れ体制
- ・臨時作業日（5月28日に決定）

② 以下の作業を実施いたしました。

- ・水路周辺の草刈り・溝あげを実施、市道の照葉樹の落葉が水路に吹き込まない様に排除しました。
- ・草原ゾーンの草刈り

参加者は原田会長、落合副会長以下、会員19名、観察隊員1名（下川 拓実君）でした。

—5月15日（日）田植え準備で、代掻きの前に粗お越しを行います。田んぼの乾燥が悪く草が伸び放題となったため、注水をして代掻き前の粗鋤を実施しました。

トラクターは岡本農産に依頼、周囲の草刈り・畔塗は原田マにて

—5月21日（土）親子自然観察隊は、野鳥観察でした。ビオトープから、市民センター、小学校、国道2号線、厚東川右岸、木田橋、厚東川左岸を歩いて、ビオトープへ帰りました。確認できた野鳥は、声を含めて21種でした。参加者は、観察隊23名（親11名、子12名）、講師3名（宇部野鳥の会）、山大学生8名、会員14名でした。

ハス田から田んぼの通水間に大きな漏れが発生し田んぼの水管理が出来なくなりましたので、4名が野鳥観察より外れて修復しました、その他、ため池や湿地の水漏れのある箇所2ヶ所も合わせて、補修しました。

—5月23日（月）役員事務局会議を行いました。参加者は田村副会長、関根事務局長、原田事務局、原谷事務局、前田事務局、観察隊；管隊長、中本副会長

1. 報告事項：所有している自走式草刈機（1台）破損のため、中古自走式草刈機を購入した。（購入費1万円）

2. 審議事項：2-1. 水車への対応策

故障している水車への対応策として、いろいろの案が出て、今後協議することになります。

2-2. 福川子供クラブの来訪：6月11日に来訪する福川子供クラブ（50人）への受入対応は、少なくとも6名の会員により行う。

2-3. 中国電力の作業：7月7日あるいは6日に、中国電力社員による作業を受け入れる。作業内容は、ヨシ刈および竹林整備。

2-4. 施設老朽化への対応：ビオトープの看板、野鳥の看板、ベンチテーブル、電動工具のバッテリーについてどうするか案が出ました。

2-5. 田の除草、イナゴ駆除：7月16日に実施することとし、観察隊は自由参加とする。

2-6. ライフジャケット・ヘルメットの購入：観察隊の予算の中から、キャストなどで購入

する。

2-7. 西宇部子供会のビオトープでの活動：打診されている、西宇部子供会のビオトープでの活動は、観察隊とは別行動とする。

2-8. 観察隊の実施方法：観察隊からつくる会への指示、提案、確認、総括を明確に行う。

2. 今後の予定（事務局 記）

◎見学者

—6月3日（金）二俣瀬小学校ビオトープ見学（原田事務局対応）

—6月11日（土）福川子どもクラブ「こども探検隊：ビオトープの生き物」

◎行 事

—5月28日（土）臨時維持活動（草刈・水路溝上げ・エコアップ・修復作業）

—6月 4日（土）稲作体験・田植え（親子自然観察隊・二俣瀬子ども会招聘）

—6月19日（日）維持管理（草刈）

3. 来訪者の声

今月はありません。

4. 会員の声-「つばめ再来」 （原田満洲夫 記）

4月8日今年も我が家にツバメが来た。昨年初めて来た2羽が巣作りを途中でやめ雛は孵（かえ）らなかったのに、昨年作った巣作り用の受け板に飛んできている。毎日入口ドアを開けっ放しにしないと！ などと気を遣う忙しい毎日となりました。

今日も夫婦と思われる2羽がチュウチュウ（土喰って、虫喰って、シブーイ！）と賑わしてくれている。何はともあれ昨年雛が生まれなかったのにまた来てくれたことに感謝したい。

すでに1か月過ぎているのに巣作りが進まない今日も挨拶に来るだけで巣は他所で作るのであるか？と思案していたが、5月21日から泥と草の混ぜ物を口にくわえて運び始めました。（写真） 5月23日にはほぼ出来上がり、今後は雛のかえるのを楽しみに待つだけです。

“今年も来た 便りの鳴き声 つばめかな”



“ 待ちどおし ツバメの雛の 賑わしさ ”

5. 親子自然観察隊（野鳥観察）（管 哲郎 記）

今日はよく晴れ、絶好の野鳥観察日和となりました。観察会には“野鳥の会”より3名の講師においでいただきました。いつもお世話になっている渡辺さん、ビオトープ会員の寺本さん、山口大学1年生の北野さんです。北野さんは学生ながら、とても野鳥に詳しく驚きました。山口大学の学生諸君も大勢参加され、本校より3名、宇部校より6名（内、留学生サークル2名）の参加があり、ビオトープの会員を合わせ総勢48名での野鳥観察となりました。新しく参加された隊員たちも野鳥の観察は初めての体験のようで、いろんな鳥を見て驚いたり感激していた様子が印象的でした。

目で観察できた野鳥は10種類ほどでしたが、目に見えない“声”での確認が同じく10種類ほどいたようで、観察の最後に全員で“声合わせ”を行った結果22種類の野鳥が確認されました。一部の会員の中より1～2種類別な鳥を確認したとの報告もありましたが、報告時間の関係で正式な数には加えられませんでした。

お天気は良かったのですが、気温がぐんぐんと上昇し、暑い中での観察会になりました。幸いにも11時には東屋に帰れ、10分ほど休憩をとったほどでした。熱中症になった子供たちもなく、元気に無事観察会を終了し、安心いたしました。見守ってくださった会員の皆様、ご苦労様でした。

<観察された野鳥>

ウグイス、カルガモ、カワラヒワ、ドバト、キジバト、キビタキ、コゲラ、アオゲラ、スズメ、ツバメ、ハクセキレイ、キセキレイ、セグロセキレイ、エナガ、ダイサギ、ハシブトガラス、ハシボソガラス、トビ、ヒバリ、ヒヨドリ、ホオジロ、ヤマガラ、



最初に観察の説明



スコープ・双眼鏡を使って観察

親子自然観察隊の感想

★月本直秀

今日は、講師の先生と一緒に、色々な鳥の鳴き声や姿を観察して勉強になりました。スコープで見せてもらったのも楽しかったです。

★国平（母）

鳥の名前などをあまり知らなくて、鳥と言えばカラス、ツバメ、スズメ。。。とよく見る鳥しか知らなくて、参加しても分からないんじゃないかな？と不安でしたが、いろいろ教えていただいて鳴き声、特徴など分かるようになってとても楽しく過ごせました。カラスも種類によって、鳴き声が違うのも初めて知りました。カラスは一種類しかいないと思っていましたし。親子で歩いて、鳥を探し、昆虫や自然とも触れ合え楽しいひと時でした。

★国平清咲

トビを近くで見れてとてもかっこよかったです。鳥の大きさも種類によって違ったり、観察シートを見ながらこの鳥はいないかな?とか、探すことが楽しかったです。

★国平寛太

カモが川の石の上で寝ているのがかわいかった。トビがかっこよかったです。

たくさん歩いて疲れたけど楽しかった。

★下川航平

とびが近くで飛んでいたのを見られてうれしかった。うぐいすの鳴き声がいっぱいしたけど見つけられなかった。

★下川 (母)

鳩の巣の作りが雑だというのは印象的でした。

★磯部 (母)

今までは意識して空を見上げることはありませんでしたが、ゆっくり歩きながら鳥の観察が出来ていい経験になりました。ツバメがいっぱい飛んでいて巣作りに励んでいることも昨日気づき、そういう季節なんだなぁと感じました。我が家では夕方になると必ずカラスが鳴きますが、昨日教えていただいたカラスの鳴き声の違いを参考に、息子が「今のはカアと鳴いたからハシブトカラスやろうね」と言っていました。鳥だけでなく、道中で出会った毒の無い大きな毛虫には親子でかなりの衝撃を受けました。今回も沢山の学びと経験をありがとうございました。

★仲嶋 (母)

日頃、意識をしながら空をみて鳥を探したり見たりしたことがあまりなく、まして、望遠鏡で観察をしたことなど無かったのであんなに綺麗に鳥の姿を見れたことに感動しました。季節的に今は鳥の姿を見つけることは難しいと言われていたのに最終的にあれだけの姿と鳴き声を聞いたことにもびっくりしました。子供と喋りながら歩いて、虫をみつけたり、野イチゴを食べたり、色々なことを教えてもらったりと、楽しい時間でした。ありがとうございました。

★阿部 (母)

お世話になります。野鳥観察は、案内して下さった方の鋭い視覚 聴覚を使った観察力の素早さに大変驚き 自分では見過ごしてしまう 沢山の種類の野鳥に出会えて 晴天の中 楽しい観察会でした。トビがゆっくりと大空を舞う姿に憧れ、私も 上空から地上の景色をゆっくりと眺めてみたいものだなぁ〜と 夢の気持ちを抱きました。

★阿部真愉

今日は、野鳥の観察がありました。名前は聞いた事があっても、どんな姿をしているのかわからない鳥、姿は知っているけれど、名前は知らない鳥がいっぱいいました。又、見たことのない鳥もいっぱいいたので とても楽しかったです。それに、大きな鳥(トビ)を間近で見たのは初めてだったので とてもビックリしました。それと、鳥を教えてください方々の皆さんは鳥を見つけるのが早く 又 見分けるのも早かったので その事にもビックリしました。

★金子実侑

色々な野鳥が観察できて楽しかったです。今覚えている鳥以外にも新しい鳥が覚えられたのでよかったです。

山口大学学生の感想

★久保山祐

大学生になって自然に触れ合う機会がなかったので、今回の野鳥観察会はとても新鮮でした。普通に生活していると鳥に注目することはめったにないので、季節の変わり目を鳥を通して感じることはとても素晴らしいことだと感じました。またこのような機会があれば、ぜひ参加したいと思います。

★山崎脩平

野鳥目当てに自然の中を歩くことは今回が初めてでした。初めて見る鳥や名前を知らない鳥も多く、短時間であれほどの種類を確認できたことに驚きました。

★阿部真希子

普段、野鳥を気に止めて観ることがないので、望遠鏡でよく観察するのはとても新鮮でした。野鳥の会の方が鳴き声で同定ができることがすごいなあと感じました。

6. ビオトープ関連：「山口県の昆虫たち」 (管 哲郎 記)

(5) ウバタマムシ コウチュウ目 タマムシ科

本州、九州、琉球諸島に生息し、5月～8月に見られます。奄美諸島以南に生息するものは亜種の“アオウバタマムシ”と呼ばれ、翅の色が緑色です。

タマムシはおもにタマムシ類(10～40mm)、ナガタマムシ類(5～15mm)、チビタマムシ類(5mm以下)に分けられるようですが、ウバタマムシは「タマムシ類」の仲間では大型(約32mm)です。ヤマトタマムシ(約33mm)とほぼ同じ大きさをしていますが、体の色は枯れ木の色に似ています。主に松類の枯れ木につきますので、林の中でよく見かけることができます。タマムシと違い地上近くによく下りていきますので、運が良ければ見つけれられると思います。触ってもかみついたりしませんし、臭い体液を放出することはありません、おとなしい甲虫です。



7. 会よりの連絡事項

- 1、6月4日(土)当会の最大イベント稲作体験の「田植え」を行います。今年は新たに『うべまるごと元気ネットワーク』にイベントを登録し、今までの二俣瀬子ども会や親子自然観察隊の行事と協働事業となりました。
- 2、5月28日は「田植え」を盛大に、又完全に行う為 駐車場の草刈りや田んぼの植え付け準備等いろいろの作業を会員皆様にご協力をお願いいたします。
その他シイタケ栽培の継続作業のホダ木の整列も行う時期に来ております。時間が許せばこの作業も行います。

8. 編集後記

周南市福川で行っている福川子どもクラブの子ども探険隊で、今度二俣瀬ビオトープに伺わせて頂くことになりました。当クラブでは数年前もお世話になりましたが、また久々にお伺いすることについて承諾して頂き、とてもうれしく、楽しみにしています。二俣瀬ビオトープの空間は、子どもを連れた親にとっては、もちろん危険を回避するように気を付けなければいけない場所ですが、とても目が行き届きやすく、そこかしこに生き物を見つけられ、とても過ごしやすい空間だと思います。福川子どもクラブが今度ビオトープに伺う日は、実は当クラブの今年度第1回の活動日です。初めての参加でドキドキの子ども達やボランティアの学生さんたちも、一緒にビオトープの気持ち良い空間で活動することで、リラックスし、仲良くなれるのではないかと思います。会員の皆様にはお手数をかけしますが、よろしくお願い致します。

(大野 靖子 記)